

平成28年

香川県観光客動態調査報告

平成29年7月

かがやくけん、かがわけん。

香川県

うどん県
それだけ
じゃない
香川県



《 目 次 》

1	香川県観光客動態調査実施要領	1
2	平成28年香川県観光客動態調査報告概要	2
3	県外観光客の動向	
	(1) 県外観光客入込数の推移	3
	(2) 交通機関別県外観光客入込数	4
	(3) 交通機関別県外観光客入込数の推移	5
	(4) 交通機関別県外観光客入込数の推移(詳細)	6
	(5) 宿泊有無別県外観光客入込数	7
	(6) 香川県内での観光消費金額(宿泊客、日帰り客別)	7
	(7) 香川県内での費目別観光消費金額	8
	(8) 香川県内での費目別観光消費金額(詳細)	8
	(9) 1人当りの平均観光消費金額	8
4	主要観光地入込客数	
	(1) 主要観光地入込客数の推移	9
	(2) 主要観光地入込客数の推移(詳細)	10
	(3) 主要観光地月別入込客数	11
	(4) 主要観光地月別入込客数(詳細)	12
	(参 考)	
	平成28年度観光客アンケート調査の概要	13

1. 調査の目的

平成28年（1月～12月）中に、県外から香川県を訪れた観光客入込数および直接消費額を推計し、今後の観光行政のための参考とする。

2. 調査対象期間

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

3. 調査内容

（1）県外観光客入込数

平成28年の交通機関（航空機、JR、フェリー）の下り便および高速道路の利用者数をもとに香川県内への県外観光客入込数を推計。

（2）宿泊有無別観光客入込数

県内（延べ・実）宿泊客数を観光庁の宿泊旅行統計調査結果をもとに算出。

（3）香川県内での観光消費金額

県内宿泊客数および「平成28年度観光客アンケート調査」（（公社）香川県観光協会実施）の結果から算出した、一人当たりの平均観光消費金額をもとに算出。

（4）主要観光地入込客数

各施設から報告のあった、県内主要観光地（栗林公園、屋島、琴平、小豆島）を訪れた観光客入込数（県外観光客＋県内観光客）。

1. 県外観光客入込数

(1) 概要

平成28年の県外観光客入込数は9,368千人(対前年比1.8%増)となり、2年連続で増加し、4年連続で9百万人を超えました。これは、過去最大である瀬戸大橋が開通した昭和63年の1,035万人に次ぐ2番目の入込み数となっています。

増加の要因としては、瀬戸内国際芸術祭2016の開催年であったことや、外国人旅行者の増加などにより、前年を上回る結果になったと考えられます。

(2) 交通機関別内訳

県外からの観光客入込数を交通機関別にみると、JR利用が1,341千人と対前年比1.7%の増加となったほか、船舶利用が630千人と対前年比7.0%増加し、航空機利用は278千人と対前年比8.4%の増加、高速バス等を含む自動車利用が7,119千人で対前年比1.1%の増加となりました。

2. 県外観光客の動向

(1) 宿泊有無別観光客入込数

宿泊を伴う県外観光客入込数は2,717千人で対前年比0.7%の減少となり、日帰り県外観光客入込数は6,651千人と対前年比2.9%の増加となりました。

(2) 香川県内での消費金額

県外観光客入込による経済効果については、わかかがわ観光推進協議会が実施した「平成28年度観光客アンケート調査」によるデータに基づき試算した結果、宿泊観光客の観光消費額は637.0億円、日帰り観光客の観光消費額は377.8億円、合計で1014.8億円程度と見込まれます。

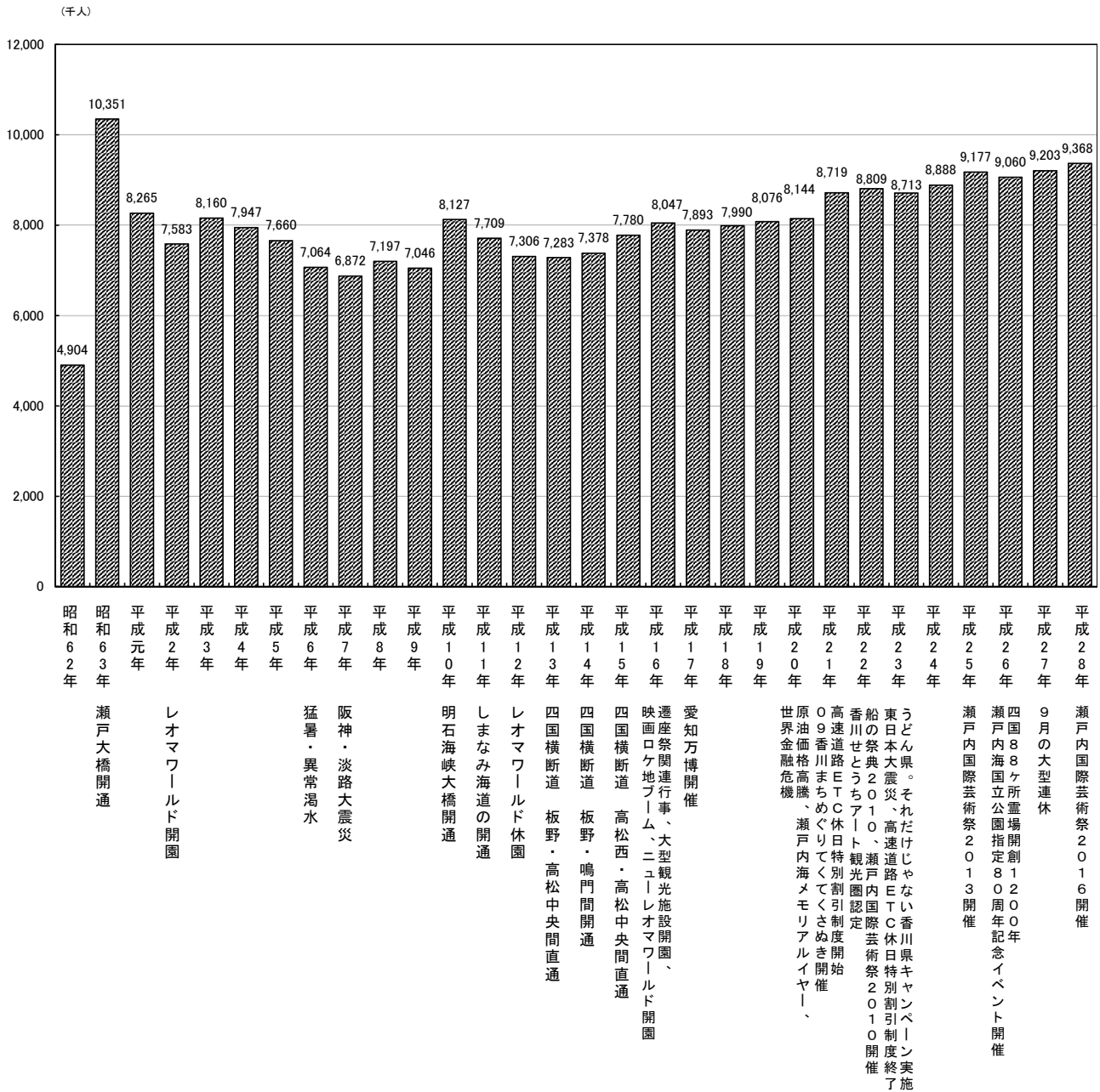
3. 主要観光地入込客数(県内客+県外客)

県内主要観光地(栗林公園、屋島、琴平、小豆島)への入込客数は、総計で4,622千人、対前年比2.1%の増加となりました。

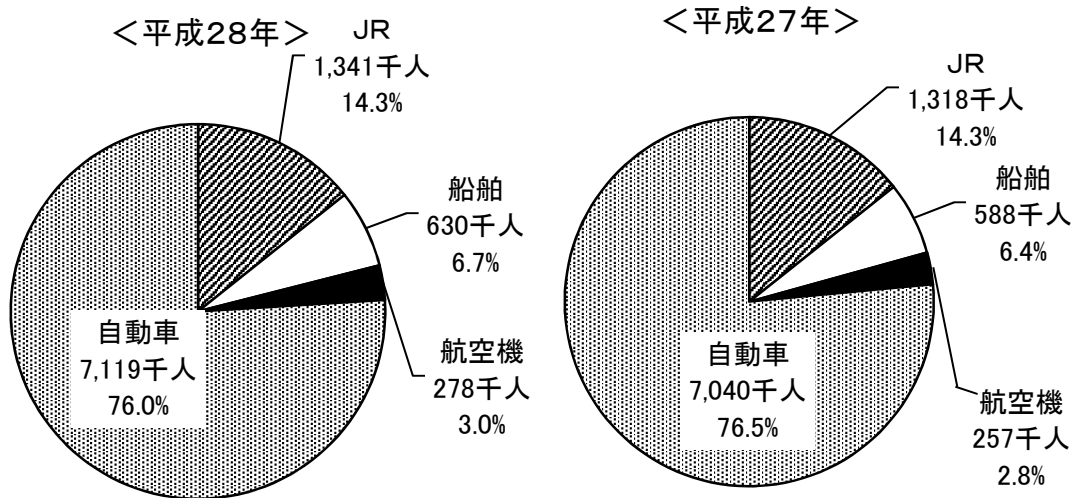
観光地別にみると、栗林公園が706千人で対前年比7.4%の増加、屋島が503千人で対前年比13.3%の増加、琴平は2,274千人で対前年比2.5%の減少、小豆島が1,139千人で対前年比4.3%の増加となりました。

- ・栗林公園…4月・11月のライトアップ期間が天候に恵まれ入園者が増加したことや、7月に香港線の定期路線が新規に就航したこと等による外国人旅行者の増加等により、5年連続で増加し、18年ぶりに70万人を超えた。
- ・屋島…平成28年はうるうの年で、順路を逆にする「逆打ち」の参拝客が増加したことや、ドライブウェイ無料化の社会実験の影響もあり、2年ぶりに増加、4年ぶりに50万人を超えた。
- ・琴平…前年対比2.5%と減少したものの、四国こんびら歌舞伎大芝居が好評だった4月は前年同月比14.1%増加したほか、例大祭の新興行列のある10月は前年同月より大幅に増加した。
- ・小豆島…3年ぶりに開催された「瀬戸内国際芸術祭2016」の効果により開催期間を中心に観光客が増加したことや、年間を通じて外国人旅行者が増加傾向にあったことなどから前年同月比4.3%の増加となった。

(1) 県外観光客入込数の推移



(2)交通機関別県外観光客入込数



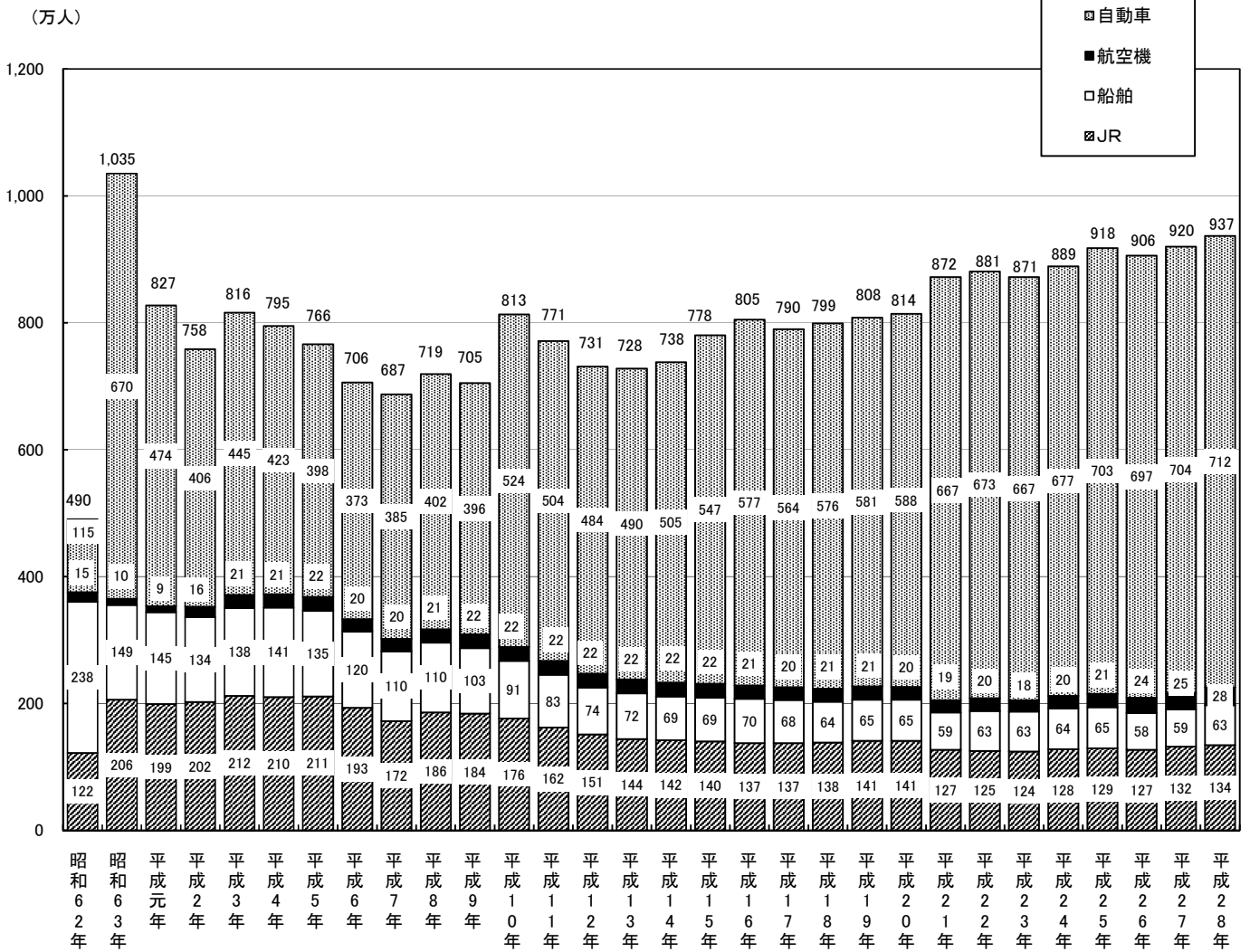
注：最下段は、合計を100とした割合（構成比）

(単位:千人)

交通機関		平成28年	平成27年	前年比(%)
J R	瀬戸大橋線	1,043	1,027	101.5%
	四国内より	298	291	102.6%
	小計	1,341	1,318	101.7%
船舶	香川本土(直島を含む)へ	92	87	105.3%
	小豆島へ	538	501	107.3%
	小計	630	588	107.0%
航空機		278	257	108.4%
自動車	瀬戸中央自動車道	3,283	3,231	101.6%
	神戸淡路鳴門自動車道	1,993	1,986	100.3%
	西瀬戸自動車道	116	109	106.0%
	四国3県より	1,727	1,714	100.8%
	小計	7,119	7,040	101.1%
合計		9,368	9,203	101.8%

※対前年比は千人単位ではなく、人単位で計算した数値

(3) 交通機関別県外観光客入込数の推移



(4)交通機関別県外観光客入込数の推移(詳細)

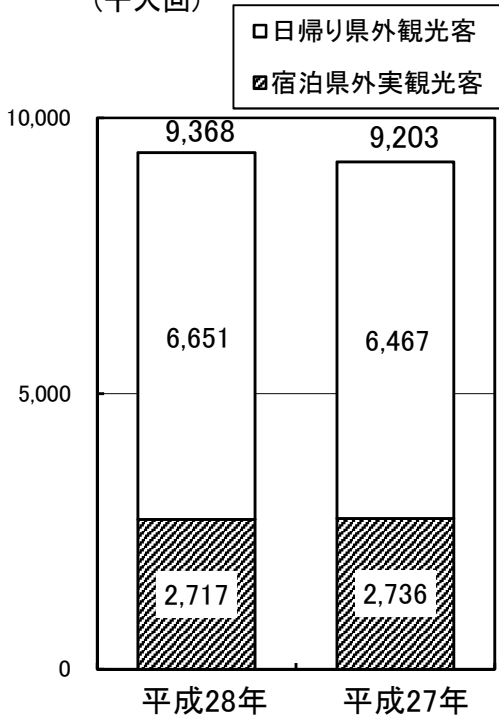
(単位:千人)

交通機関 年	J R	船 舶		航 空 機	自 動 車				合 計
		香 川 本 土 へ	小 豆 島 へ		自瀨 動戸 車中 道央	自鳴神 動戸 車淡 道門路	自西 動車 瀨 道戸	よ四 国 3 り県	
昭和62年	1,226	1,432	944	150	-	-	-	1,152	4,904
昭和63年	2,057	756	738	97	5,052	-	-	1,651	10,351
平成元年	1,986	732	718	91	3,604	-	-	1,134	8,265
平成2年	2,016	664	679	160	3,110	-	-	954	7,583
平成3年	2,123	637	744	205	3,415	-	-	1,036	8,160
平成4年	2,101	628	778	214	3,171	-	-	1,055	7,947
平成5年	2,113	616	735	219	2,938	-	-	1,039	7,660
平成6年	1,933	519	680	200	2,764	-	-	968	7,064
平成7年	1,723	480	624	200	2,839	-	-	1,006	6,872
平成8年	1,865	453	643	210	2,958	-	-	1,068	7,197
平成9年	1,834	424	610	217	2,907	-	-	1,054	7,046
平成10年	1,764	304	601	221	2,870	1,307	-	1,060	8,127
平成11年	1,623	258	568	222	2,643	1,306	83	1,006	7,709
平成12年	1,507	238	498	224	2,442	1,348	91	958	7,306
平成13年	1,440	213	506	218	2,414	1,442	91	959	7,283
平成14年	1,424	155	534	215	2,355	1,561	101	1,033	7,378
平成15年	1,400	143	548	216	2,326	1,660	112	1,375	7,780
平成16年	1,371	148	548	209	2,402	1,706	120	1,543	8,047
平成17年	1,372	156	518	204	2,295	1,608	105	1,635	7,893
平成18年	1,383	147	495	208	2,313	1,669	138	1,637	7,990
平成19年	1,411	156	493	211	2,336	1,667	97	1,705	8,076
平成20年	1,409	139	506	207	2,386	1,705	96	1,696	8,144
平成21年	1,268	102	487	190	3,075	1,909	104	1,584	8,719
平成22年	1,246	133	498	197	3,176	1,955	109	1,495	8,809
平成23年	1,240	119	506	181	3,079	1,881	106	1,601	8,713
平成24年	1,277	106	538	200	3,063	1,906	109	1,689	8,888
平成25年	1,291	99	548	205	3,156	1,955	114	1,809	9,177
平成26年	1,276	90	489	239	3,170	1,939	107	1,750	9,060
平成27年	1,318	87	501	257	3,231	1,986	109	1,714	9,203
平成28年	1,341	92	538	278	3,283	1,993	116	1,727	9,368
対前年比 (%)	101.7%	105.3%	107.3%	108.4%	101.6%	100.3%	106.0%	100.8%	101.8%

※対前年比は千人単位ではなく、人単位で計算した数値

(5) 宿泊有無別県外観光客入込数

① 県外観光入込客実人数
(千人回)



※人回＝観光入込客の1回の来訪を表す単位

② 県外宿泊・日帰り別観光客実人数
(＊ 県外宿泊観光客には外国人を含む。)

(単位：人回)

	宿泊観光客 (実人数)	日帰り観光客	総数
平成28年	2,716,725	6,651,293	9,368,018
平成27年	2,736,210	6,466,845	9,203,055

※平成28年実宿泊観光客 対前年比0.7%減

※平成28年日帰り観光客 対前年比2.9%増

③ 延べ宿泊観光客の状況

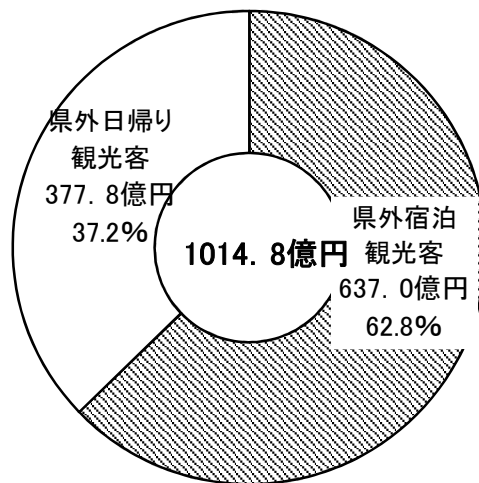
(単位：人泊)

	人数
平成28年	3,091,420
平成27年	3,405,410

※平成28年延べ宿泊観光客数 対前年比9.2%減

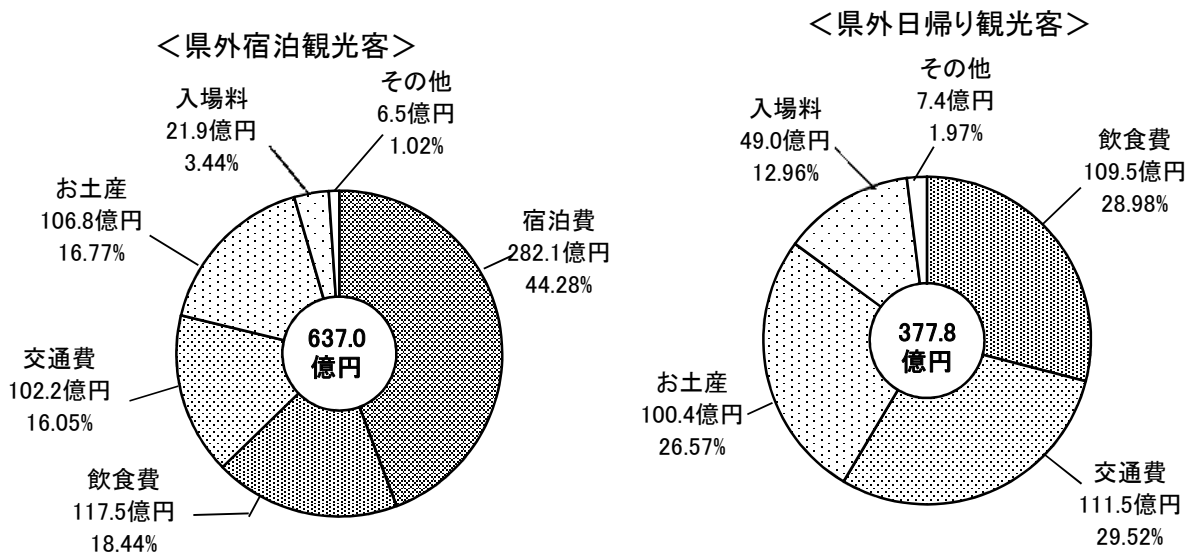
※平均宿泊日数 平成28年：1.14日 平成27年：1.24日

(6) 香川県内での観光消費金額(平成28年・宿泊客、日帰り客別)



区分	観光消費金額(単位：千円)	割合
県外宿泊観光客	63,704,485	62.8%
県外日帰り観光客	37,779,344	37.2%
消費額計	101,483,829	100.0%

(7) 香川県内での費目別観光消費金額(平成28年)

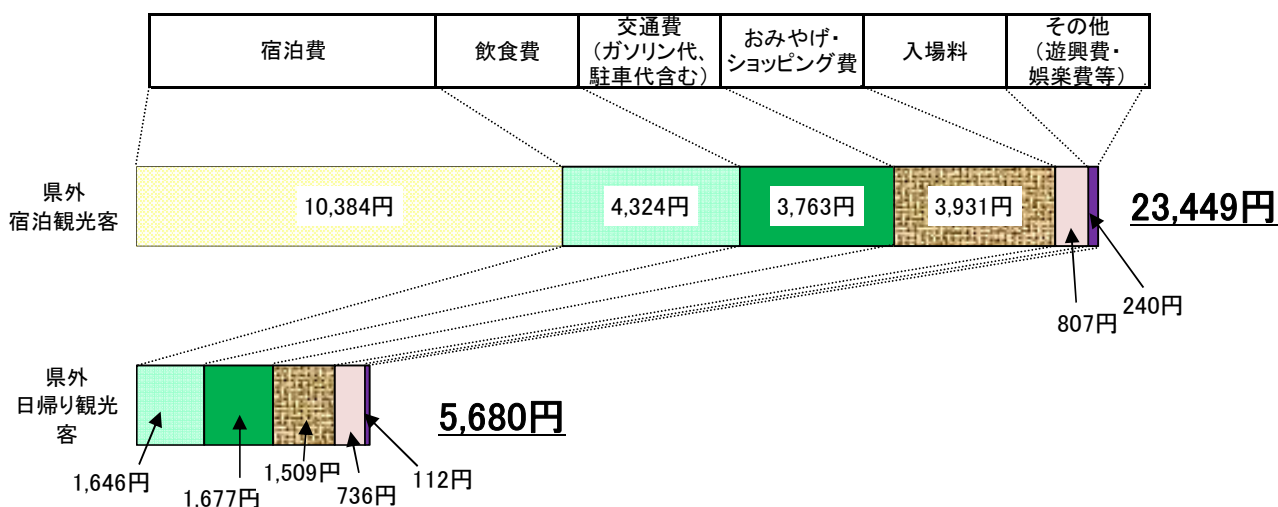


(8) 香川県内での費目別観光消費金額(平成28年・詳細)

(単位:千円)

平成28年	宿泊費	飲食費	交通費 (ガソリン代、駐車代含む)	お土産・ ショッピング費	入場料	その他 (遊興費・ 娯楽費等)	合計
県外宿泊観光客	28,210,473	11,747,119	10,223,036	10,679,446	2,192,397	652,014	63,704,485
県外日帰り観光客	0	10,948,028	11,154,218	10,036,801	4,895,352	744,945	37,779,344
消費額計	28,210,473	22,695,147	21,377,255	20,716,247	7,087,749	1,396,959	101,483,829

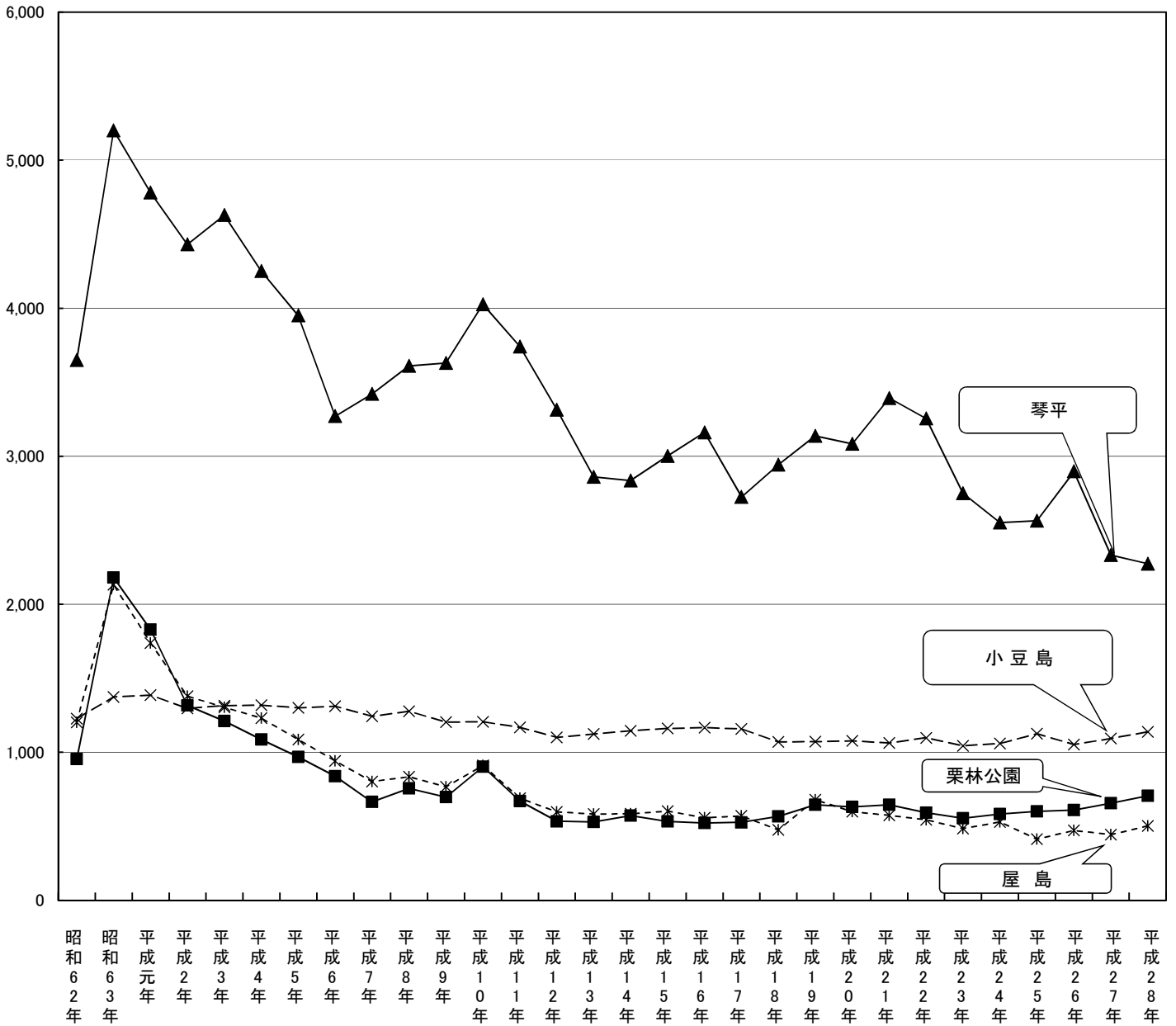
(9) 1人当たりの平均観光消費金額(金額は平成28年度「観光客アンケート調査」結果による数値。)



4 主要観光地入込客数

(1) 主要観光地入込客数の推移

(千人)



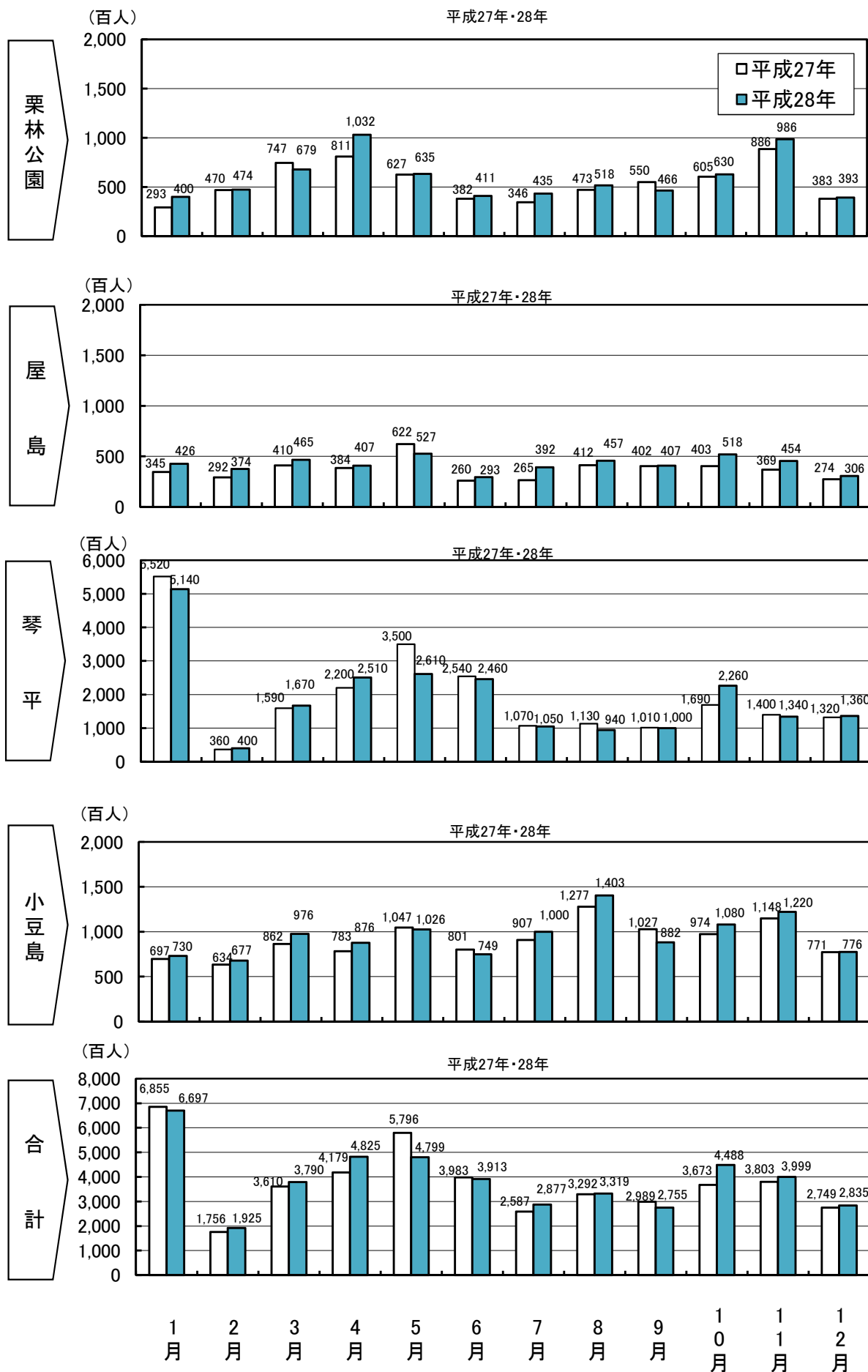
(2) 主要観光地入込客数の推移(詳細)

(単位:千人)

観光地	栗林公園	屋島	琴平	小豆島	計
昭和62年	955	1,203	3,650	1,227	7,035
昭和63年	2,180	2,132	5,200	1,373	10,885
平成元年	1,828	1,737	4,780	1,386	9,731
平成2年	1,316	1,379	4,430	1,297	8,422
平成3年	1,211	1,304	4,628	1,315	8,458
平成4年	1,086	1,231	4,250	1,318	7,885
平成5年	969	1,087	3,950	1,300	7,306
平成6年	838	942	3,270	1,312	6,362
平成7年	665	802	3,420	1,244	6,131
平成8年	756	835	3,610	1,277	6,478
平成9年	697	767	3,630	1,204	6,298
平成10年	903	912	4,026	1,206	7,047
平成11年	671	690	3,740	1,168	6,269
平成12年	534	598	3,314	1,101	5,547
平成13年	530	583	2,860	1,124	5,097
平成14年	573	585	2,836	1,145	5,139
平成15年	533	603	3,002	1,161	5,299
平成16年	522	558	3,160	1,166	5,406
平成17年	527	571	2,724	1,158	4,980
平成18年	567	476	2,943	1,070	5,056
平成19年	645	679	3,137	1,073	5,534
平成20年	632	600	3,083	1,077	5,392
平成21年	646	574	3,393	1,064	5,677
平成22年	592	544	3,254	1,098	5,488
平成23年	555	485	2,749	1,044	4,833
平成24年	583	529	2,552	1,059	4,723
平成25年	601	413	2,564	1,126	4,704
平成26年	610	473	2,897	1,053	5,033
平成27年	657	444	2,333	1,093	4,527
平成28年	706	503	2,274	1,139	4,622
対前年比 (%)	107.4%	113.3%	97.5%	104.3%	102.1%

※対前年比は千人単位ではなく、人単位で計算した数値(12頁を参照)。

(3) 主要観光地月別入込客数



(4)主要観光地月別入込客数(詳細)

区分	栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
	人	対前年 同月比	人	対前年 同月比	人	対前年 同月比	人	対前年 同月比	人	対前年 同月比
1月	29,328		34,493		552,000		69,692		685,513	
	40,019	136.5%	42,639	123.6%	514,000	93.1%	73,018	104.8%	669,676	97.7%
2月	47,014		29,201		36,000		63,393		175,608	
	47,374	100.8%	37,425	128.2%	40,000	111.1%	67,708	106.8%	192,507	109.6%
3月	74,722		40,998		159,000		86,242		360,962	
	67,899	90.9%	46,493	113.4%	167,000	105.0%	97,645	113.2%	379,037	105.0%
4月	81,148		38,429		220,000		78,306		417,883	
	103,223	127.2%	40,713	105.9%	251,000	114.1%	87,554	111.8%	482,490	115.5%
5月	62,666		62,200		350,000		104,715		579,581	
	63,507	101.3%	52,736	84.8%	261,000	74.6%	102,649	98.0%	479,892	82.8%
6月	38,242		25,965		254,000		80,130		398,337	
	41,051	107.3%	29,327	112.9%	246,000	96.9%	74,949	93.5%	391,327	98.2%
7月	34,581		26,460		107,000		90,701		258,742	
	43,517	125.8%	39,189	148.1%	105,000	98.1%	99,970	110.2%	287,676	111.2%
8月	47,281		41,165		113,000		127,735		329,181	
	51,849	109.7%	45,716	111.1%	94,000	83.2%	140,308	109.8%	331,873	100.8%
9月	55,027		40,217		101,000		102,696		298,940	
	46,568	84.6%	40,720	101.3%	100,000	99.0%	88,200	85.9%	275,488	92.2%
10月	60,547		40,292		169,000		97,442		367,281	
	62,950	104.0%	51,847	128.7%	226,000	133.7%	108,006	110.8%	448,803	122.2%
11月	88,588		36,878		140,000		114,801		380,267	
	98,556	111.3%	45,359	123.0%	134,000	95.7%	121,971	106.2%	399,886	105.2%
12月	38,325		27,439		132,000		77,131		274,895	
	39,318	102.6%	30,634	111.6%	136,000	103.0%	77,560	100.6%	283,512	103.1%
累計	657,469		443,737		2,333,000		1,092,984		4,527,190	
	705,831	107.4%	502,798	113.3%	2,274,000	97.5%	1,139,538	104.3%	4,622,167	102.1%

上段：平成27年 入込客数

下段：平成28年 入込客数

〔参考〕平成28年度観光客アンケート調査（(公社)香川県観光協会実施）の概要

○調査方法	： 調査員による対面聞き取り調査		
○調査対象	： 香川県内主要観光地（10箇所）の来訪者	16歳以上の男女個人	
○調査実施日	： 平成28年6月19日（日）	869	（354）サンプル
	8月7日（日）	1,105	（443）サンプル
	11月13日（日）	1,176	（529）サンプル
	平成29年1月22日（日）	944	（386）サンプル
○調査サンプル数「（ ）内は観光実態調査」	計	4,094	（1,712）サンプル

調査結果の概要

1 観光客のプロフィール（香川県観光地点パラメータ調査）

(1) 性別・年齢

- ・「男性」45.5% 「女性」54.5%
- ・年齢構成は「30歳代」21.5%が最も多く、次いで「40歳代」20.3%、「50歳代」18.3%、「20歳代」17.5%、「60歳代」13.7%と続く。

(2) 居住地

- ・県外観光客割合は71.9%。内訳としては「近畿」29.2%、「四国（香川を除く）」23.4%、「山陽」22.9%、「関東」11.3%と続く。

2 県外観光客の香川県観光の動機（香川県観光実態調査）

(1) 香川県選択理由

- ・「讃岐うどん」40.1%、「歴史的な社寺仏閣」31.8%、「豊かな自然」23.2%、「名所」18.9%と続く。

(2) 参考にした情報媒体

- ・「インターネット」38.3%、「旅行雑誌や情報誌」24.5%、「クチコミ（友人・知人の話）」21.6%、「過去（香川県）の旅行経験」20.3%と続く。

3 県外観光客の観光実態（香川県観光地点パラメータ調査+香川県観光実態調査）

(1) 観光日程

- ・県外観光客は「1泊2日」が47.7%と半数近くを占め、次いで「日帰り」が38.0%と続く。
- ・県外観光客の県内の平均宿泊数は1.28泊となっている。

(2) 同伴者

- ・旅行人数は「2人」が36.4%と最も多く、次いで「3人」18.3%、「4人」16.1%、「5～10人」14.1%と続く。
- ・旅行人数が2人以上の同伴者は、「家族」が59.6%と最も多く、次いで「友人」30.2%となっており、他は1割程度にとどまる。

(3) 香川県への訪問回数

- ・「4回目以上」が51.7%と最も多く、「今回の旅行が初めて」21.4%、「2回目」14.6%、「3回目」12.3%と続く。

(4) 立寄り観光地点

- ・県内の立寄り観光地点数は「1 地点」が 56.0%と最も高く、「2 地点」が 23.1%、「3 地点」が 12.7%と続き、平均立寄り地点数は 1.75 地点となっている。

(5) 県内消費金額

- ・県外宿泊観光客の消費金額は 23,449 円、県外日帰り観光客は 5,680 円となっている。県外日帰り観光客は前年調査時に比べて額が減少した。

(6) うどん店への立寄り状況

- ・77.4%の方が讃岐うどんを食べており、その方が立ち寄ったうどん店数の平均は 1.49 店となっている。

4 香川県を観光しての印象（県内及び県外観光客）（香川県観光実態調査）

(1) 満足度

- ・「大変満足した」が 21.1%、「満足した」が 50.0%、「やや満足した」が 17.1%で、これらを合計した満足度は 88.2%となっている。

(2) 満足度の理由（訪れた観光地についての感想）

- ・「自然・景色がよい」 24.8%、次いで「海がよい」 5.0%、「美しい」 5.0%となっている。また、具体的な理由は挙げられていないが、「よい、すばらしい、満足」と回答した割合が 10.2%となっている。
- ・良くなかった点では、「天候・気候が悪い」 18.8%、次いで「設備が充実していない」 5.7%となっている。

(3) 再来訪意向

- ・「ぜひ来たい」が 34.3%、「来たいと思う」が 44.3%、「やや来たいと思う」が 13.3%で、ほとんどが再来訪意向を示した。
- ・「金刀比羅宮」で「ぜひ来たい」が 5 割を超えている。

(4) 香川県の魅力

- ・「歴史的な社寺仏閣」が 28.8%でトップであり、次いで「讃岐うどん」が 27.5%、以下「豊かな自然」が 23.0%、「名所」が 16.6%、「レジャー施設」が 14.7%と続く。

(5) 期待や要望

- ・「交通インフラ」に対する意見が最も多く、次いで「情報発信」、「観光地の管理」について意見が多く寄せられた。
- ・「交通インフラ」については「交通関係の料金を安くしてほしい」、「情報発信」については「もっとPRや情報を流して欲しい」、「観光地の管理」については「街、名所の整備や活性化」、「自然の風景をそのまま守ってほしい」との意見が最も多かった。